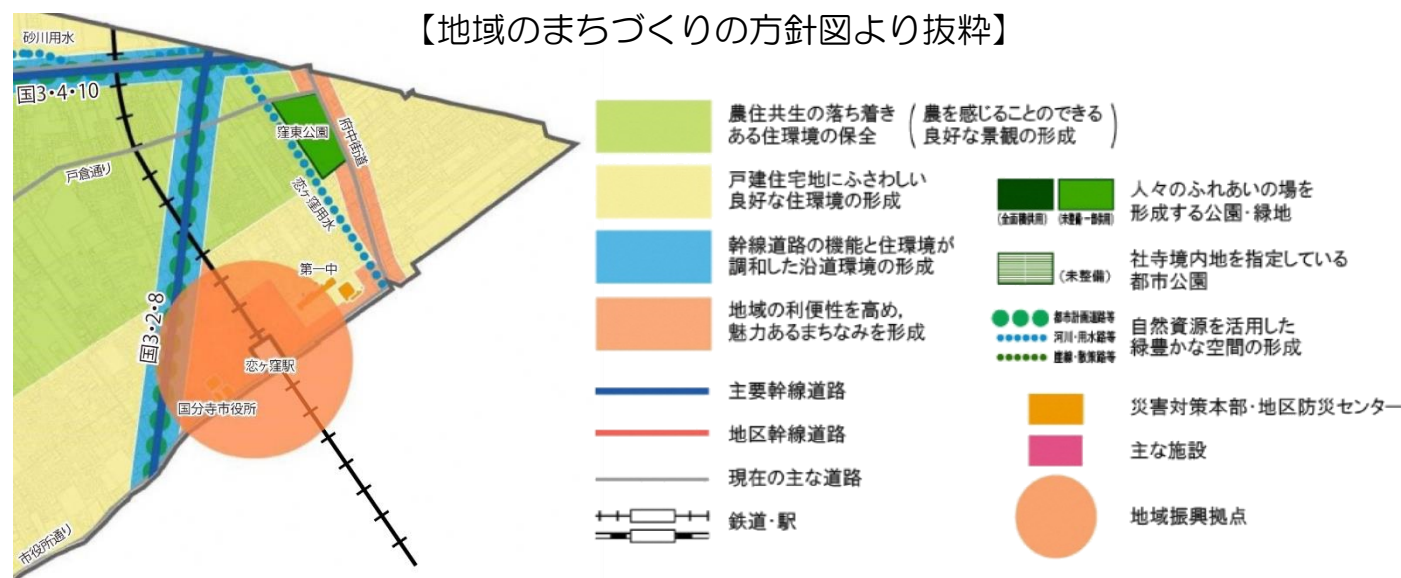


●『地域振興拠点』とは ※「国分寺市都市計画マスタープラン（平成28年）」より

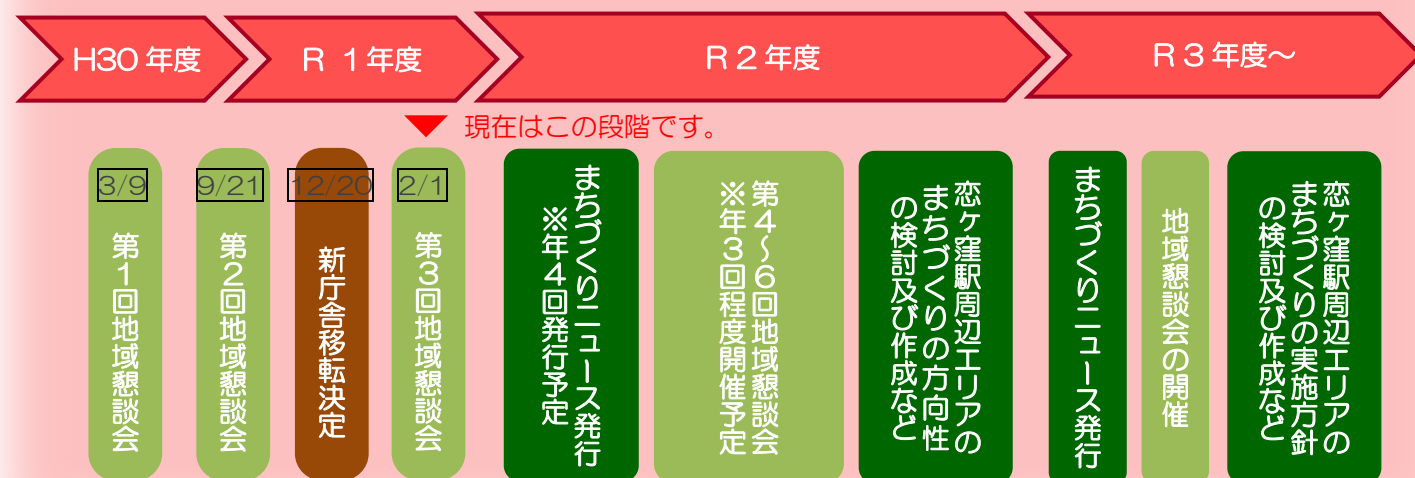
恋ヶ窪駅と国立駅北側一帯は、駅周辺に広がる良好な住宅地や農地に囲まれた地域の身近な交流の拠点として、日常生活の利便性の向上を図るとともに、周辺の地域資源を活かすことで更なる発展を遂げるエリアとしても期待されることから、『地域振興拠点』に位置づけられています。

恋ヶ窪駅一帯（下図のオレンジ色の●の範囲）の『地域振興拠点』では、地域住民が日常生活の中で利用する恋ヶ窪駅を中心に、新庁舎建設の動向も踏まえ、国3・2・8号線の機能を活かした地域の利便性を高めるまちづくりを推進します。



●今後の予定

恋ヶ窪駅周辺エリアについては、地域懇談会の開催やまちづくりニュースを発行しながら、継続的にまちづくりの検討を進めてまいります。



国分寺市 まちづくり部 まちづくり計画課

〒185-8501

東京都国分寺市戸倉一丁目6番地1 電話(042)325-01111（内線：449）

恋ヶ窪駅周辺エリアのまちづくり

令和2年1月

第3回地域懇談会開催のお知らせ

恋ヶ窪駅前を中心とした『地域振興拠点』の将来像 について話し合おう！

日時：令和2年2月1日（土）午前10時～12時
場所：市役所第一庁舎 3階 第1・第2委員会室



日頃より、市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
さて、恋ヶ窪駅周辺エリアのまちづくりにつきましては、国分寺市都市計画マスタープランにおいて『地域振興拠点』（4ページ上段参照）として位置づけていることから、今後の発展が期待されております。

市ではこれまで2回地域懇談会を開催し、ご出席頂いた地域の皆さまと恋ヶ窪駅周辺エリア全体のまちづくりについてご意見を伺ってまいりました（2-3ページ 又は ※1 参照）。
また、新庁舎の建設につきましては、昨年12月20日の市議会において、泉町都有地へ移転して建設することが決定いたしました。

これらの動向を踏まえ、第3回地域懇談会では、検討範囲を恋ヶ窪駅前を中心とした『地域振興拠点』に絞り、このエリアの“望ましい将来の姿”について意見交換を行いたいと思います。

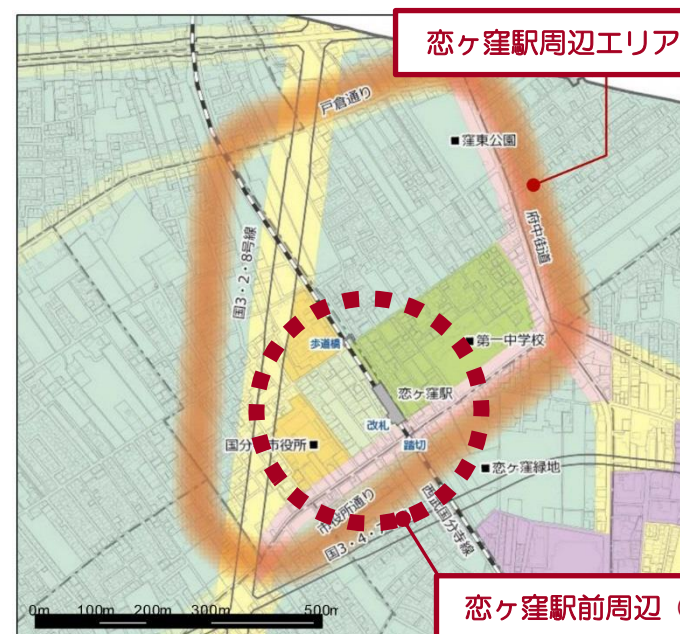
ご多忙の折とは存じますが、是非ご参加くださいますようお願い申し上げます。

※1 これまでの経緯は
HP:国分寺市ホームページから
「恋ヶ窪駅周辺エリアのまちづくり」
で検索



恋ヶ窪駅周辺エリアのまちづくり 検索

●お申込みは不要です。
当日直接会場にお越しください。



第3回地域懇談会の内容

1. 情報提供
 - ・『地域振興拠点』の位置づけについて(説明)
 - ・新庁舎の建設について(報告)
 - ・市が行った調査結果※2(報告)
 - ・現庁舎用地への公共施設再配置について(説明)

(※2 新庁舎計画に伴う現庁舎用地での想定利活用に関するサウンディング型市場調査の結果)
2. 懇談
 - グループに分かれて意見交換

恋ヶ窪駅前周辺（都市計画マスタープランで位置づけている“地域振興拠点”の範囲）



【恋ヶ窪駅周辺エリアのまちづくりについて、地域の皆さまから頂いたご意見の概要】

【第1回地域懇談会での意見】

エリア全体

- まちづくり全般
 - ・庁舎跡地利用を議論しないと地域のまちづくりは論じられない
 - ・来訪者よりも住民が暮らしやすいまちづくりにした方がよい
 - ・駅徒歩圏の住民の利便性を考えた駅周辺のまちづくりが必要
- 緑・景観
 - ・公園・憩いの場の計画的な整備をしてほしい
- 道路・交通
 - ・生活道路の整備を優先してほしい
 - ・バスの南北方向の路線がほしい
- 土地利用・建物用途
 - ・安心して立ち寄れるトイレや休憩所があるとよい
 - ・低層の建物によるまちづくりがよい

北側住宅地

- 緑・景観
 - ・緑豊かな環境を残し、増やしていくことを望む
 - ・農住調和のまち
 - ・農地を守ってほしい
- 安全・安心
 - ・災害時の備えが不安
 - ・木造住宅密集地の解消が必要
 - ・ブロック塀の解消が必要
- 道路・交通
 - ・災害時の逃げ道の確保が必要
 - ・道路状態の改善が必要
 - ・長期的には道路拡幅整備が必要

国3・2・8号線沿道

- 緑・景観
 - ・緑豊かな空間形成を望む
- 安全・安心
 - ・町丁目単位での防災計画の分断を懸念
- 道路・交通
 - ・通学路でのガードレール設置による抜け道化の防止が必要
 - ・安全に横断できる仕組みが必要
 - ・開通時にぶんバスのルートを見直してほしい
- 土地利用
 - ・道路整備による地域分断を懸念
 - ・国3・2・8号線と市役所通りの回遊動線が欲しい
 - ・家族連れで来訪できる沿道施設の立地を望む

恋ヶ窪駅・駅前周辺

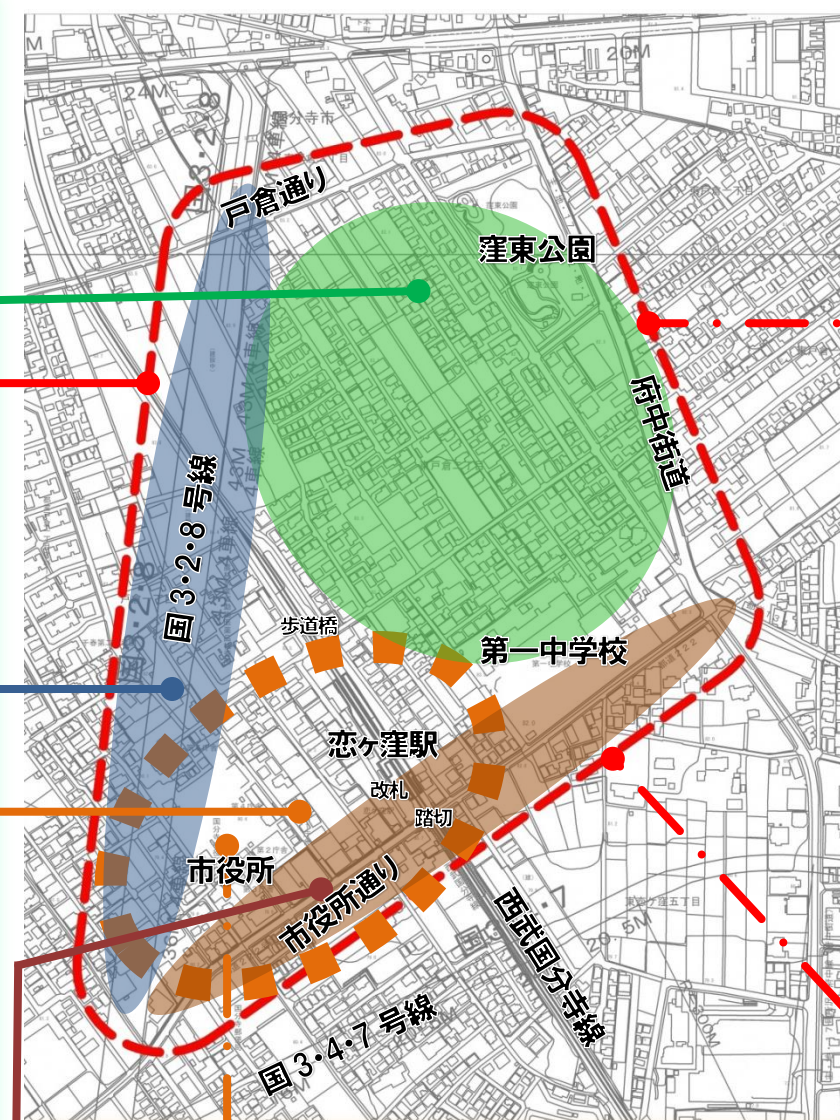
- 駅周辺の都市基盤
 - ・東口がなく不便、橋上駅にするなど利便性向上を図ってほしい
 - ・駅前のロータリーを整備してほしい
 - ・送迎車で歩行者が危険な時間がある
- 土地利用・建物用途
 - ・駅前がさびれている
 - ・遊歩道のように買い物を楽しめる空間があるとよい
 - ・駅東側に店舗が少なく、建替えてマンションに変わっている
 - ・交流サロン等、コミュニケーションを図る場所がほしい
 - ・健康的に過ごせる空間がほしい

- ・商店街の衰退が懸念される
- ・商店街を活性化してほしい
 - おしゃれな店を増やす
 - 買い物を楽しめる店を増やす
 - 生鮮食品の店があると暮らしやすいまちになる
 - 個人商店が出店しやすいまちづくりをする

市役所通り沿道

- 道路・交通
 - ・歩道が狭い、電柱が張り出しており危険
 - ・踏切部分は特に狭く危険性が高い
 - ・バス停車による一時的混雑が発生
 - ・電柱の地中化を望む
 - ・駅周辺に横断歩道を増やしてほしい
 - ・子どもや高齢者に優しい道にしてほしい

【恋ヶ窪駅周辺エリア】



現庁舎敷地について、望むこと・望まないこと

【望むこと】

- ・恋ヶ窪らしさを感じられるもの
- ・地域のシンボルとなるようなもの
- ・「恋」のつく4駅をリンクさせるようなもの
- ・どのような公共施設が必要なのか、しっかりと議論すべき
- ・市民の意見を聞いて、何をつくるのか考えてほしい
- ・経済的なことだけでなく、慎重に敷地の利用を考えてほしい
- ・市民が利用でき、かつ経済的にも地域のためになる用途
- ・庁舎が移転してもにぎわいが減らないようにする
- ・市職員がいたことによるのと同程度以上のにぎわいを維持する
- ・文化施設（ふるさとを感じることでできる施設）
- ・学校
- ・医療・福祉系のもの
- ・情報発信の機能
- ・イベントスペース
- ・公共施設（市の機能）+ αの複合施設

【第2回地域懇談会での意見】

恋ヶ窪にふさわしいにぎわいとは

- 基盤・拠点
 - ・恋ヶ窪周辺全体が安心して歩ける道
 - ・回遊性を向上させる
 - ・他の交通機関とつながっていること（ぶんバス・民間バス・タクシー乗り場）
 - ・車で駅にアクセスできること
 - ・拠点ごとのにぎわい
 - ・駅前に商店がなければにぎわいは生まれない
 - ・国3・2・8号線の沿道の活用
 - ・駅から市役所まで無電柱化
- 住民
 - ・生活する上で買い物しやすい商店がある
 - ・住宅地の中の小さな駅として身の丈にあったにぎわい
 - ・人口密度が低く商業だけのにぎわいは厳しい
 - ・市民にとっての憩いの場の創造（ひまわり畑等）
- 来訪者
 - ・駅前にトイレを設置
 - ・商店が多いこと
 - ・住民と来訪者のバランスのとれたにぎわい
- 現庁舎敷地
 - ・市役所敷地での新たに創造されるにぎわい
 - ・現庁舎用地をまちづくりの視点で捉えることが重要
 - ・市役所がこの場所でなければ発展はできない
- 恋ヶ窪の魅力の活用
 - ・駅前に恋ヶ窪という地名に関する説明板を設置してはどうか
 - ・恋ヶ窪の由来を押し出したにぎわいの創出（住民の負担にならないようなもの）

まちづくりの範囲について

- ・広げすぎるよりは、まずは駅を中心に検討した方がよい
- ・広いエリア設定のうえで、中心に絞る
- ・住民の活動範囲を参考にしてエリア設定を考える
- ・商店街の人の考えを聞くべき
- ・国3・2・8号線は地域を結びつける軸となるか、地域を分断するか
- ・まちづくりに国分寺3・2・8号線を活かす
- ・スケジュールが明確にならないと検討できない

- ・泉町を第一庁舎、戸倉を第二庁舎にし、戸倉と泉町の新庁舎をシャトルバス（ぶんバス）で結び、人を運んできってもらう
- ・人を呼び込むもの
- ・農作物の直売所

【望まないこと】

- ・庁舎ではにぎわいは生まれない（賑わい創出は別の施設でもよい）
- ・住宅地にふさわしくない店舗や看板はやめてほしい